

前回検討の指標による排出・再生利用等の状況について

- ・現計画では、市町村、府民、事業者といった各主体が3Rの取組みを推進し、その進捗状況を把握するために、排出量、再生利用率、最終処分量を指標として設定しているが、現行の指標のみでは、各主体の取組み状況が十分に表せていない等の課題があり、第2回部会において、指標の考え方について検討した。
- ・廃棄物の処理段階ごとの取組みの現状を、第2回部会において検討した指標を用いて表した。

1 一般廃棄物

(1) 一般廃棄物に関するごみ処理段階ごとの新たな指標

- ・一般廃棄物に関するごみ処理段階ごとの新たな指標を表2-1に示す。

表 2-1 ごみ処理段階ごとの新たな指標

ごみ 処理 段階	指標の考え方	新たな指標 ○：生活系 ●：事業系 ◎：共通
発生	<ul style="list-style-type: none"> ・排出場所や排出形態が異なる生活系ごみと事業系ごみは、それぞれの量を分けて表す。 ・府民や事業者の実感に近く、現状を把握できるよう、生活系は「府民1人当たり」、事業系は「従業者1人当たり」で表す。 	○府民1人1日当たり 生活系ごみ排出量 ●従業者1人1日当たり 事業系ごみ排出量
排出 ～ 収集	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村による分別収集体制の整備及び府民への浸透の状況を表す。 ・府民による分別排出の状況を表す。 	○府民1人1日当たり 生活系混合／可燃ごみ 排出量 ○生活系ごみ分別排出率 ^{※1}
処理	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村による回収が中心となって回収・再生利用されている品目の再生利用量に基づいて算出する。 ・新聞や段ボール等の古紙や缶等については、市町村による回収だけでなく、民間事業者による回収を含めて社会全体でのリサイクルのシステムが構築されていることを考慮する。 	○主に行政により分別収集が行われている品目のみの再生利用率 ^{※2}
	<ul style="list-style-type: none"> ・分別排出・分別収集や、市町村におけるごみ処理工程における減量の成果を考慮しながら、最終処分量削減の進捗を表す。 	◎最終処分率 (最終処分量／排出量)

※1 生活系ごみ分別排出率

$$= (\text{生活系資源ごみ排出量} + \text{集団回収量}) / (\text{生活系混合・可燃ごみ排出量} + \text{生活系資源ごみ排出量} + \text{集団回収量}) \times 100$$

※2 主に行政により分別収集が行われている品目のみの再生利用率

$$= (\text{ガラス類、ペットボトル、プラスチック類、布類、紙製容器包装の資源化量}) / \{ \text{生活系ごみ排出量} + \text{事業系ごみ排出量} + \text{集団回収量} - (\text{ガラス類、ペットボトル、プラスチック類、布類、紙製容器包装以外の品目の資源化量}) \} \times 100$$

・各指標については、以下の推移を確認し、市町村、府民、事業者といった各主体の取り組みの成果をより実感できるように表す。

- ①「府民1人1日当たり生活系ごみ排出量」、「従業者1人1日当たり事業系ごみ排出量」、「府民1人1日当たり生活系混合/可燃ごみ排出量」については、削減が進んでいるか。
- ②「生活系ごみ分別排出率」、「主に行政のみで分別収集が行われている品目のみの再生利用率」については、分別排出・再生利用が進み、率が上がっているか。
- ③「最終処分率」については、最終処分量が削減され、率が下がっているか。

(2) 新たな指標で表した平成26年度の市町村別ごみ処理実績

表2-2 新たな指標で表した平成26年度市町村別ごみ処理実績（速報値）

市町村	発生		排出～収集		処理		取組み状況	
	○生活系府民 1人1日当たり 排出量 (g/府民1人・日)	●事業者 従業者 1人1日当たり 排出量※ (g/従業者1人・日)	○生活系府民 1人1日当たり 混合/可燃 排出量 (g/府民1人・日)	○生活系 分別排出率 (%)	○主に行政により 分別収集が行われ ている 品目のみの 再生利用率 (%)	◎ごみ総排出量に 占める 最終処分量の 割合 (%)	プラスチック製 容器包装の収集 (頻度)	古紙の行政回収 (頻度)
大阪市	430	684	356	22.6	5.1	14.3	○(週1)	○(月2)
堺市	590	947	516	20.7	4.4	8.8	○(週1)	○(月1:美原区)
岸和田市	524	1270	431	26.8	6.3	11.3	○(週1)	
豊中市	489	841	406	21.8	5.9	14.7	○(週1)	○(月2)
池田市	557	673	453	17.9	3.1	14.5	○(月2)	○(月1)
吹田市	518	658	436	20.4	3.3	4.0	※	○(月2)
泉大津市	456	1101	420	22.9	2.5	12.6	△(月2)	○(月2)
高槻市	544	968	460	21.1	2.4	10.2	※	○(月2)
貝塚市	604	1302	528	20.4	5.1	12.6	○(週1)	
守口市	455	768	328	34.3	11.9	9.9	○(週1)	○(月2)
枚方市	506	755	405	31.0	7.7	9.0	○(週1)	
茨木市	507	1288	417	24.5	2.9	4.9	□(月2)	○(月1)
八尾市	553	530	489	22.0	4.0	1.1	○(週1)	
泉佐野市	444	1577	391	14.2	4.0	14.4	○(週1)	○(月2)
富田林市	719	438	568	20.2	4.7	11.3	○(月2)	
寝屋川市	571	732	408	32.7	10.3	14.4	○(週1)	○(週1)
河内長野市	587	835	441	29.1	7.4	10.1	○(月2)	○(月1)
松原市	577	577	370	30.2	6.9	11.2	○(週1)	○(月2)
大東市	606	495	529	18.0	5.1	16.3	○(週1)	
和泉市	529	983	478	20.9	2.5	12.9	○(月2)	○(月2)
箕面市	537	1057	446	20.4	2.9	9.6	□(月2)	
柏原市	690	494	634	8.9	1.8	13.6	※	
羽曳野市	655	709	593	13.9	0.4	13.2		
門真市	546	731	443	23.3	6.2	14.8	○(週1)	○(月1)
摂津市	496	681	382	25.3	3.6	9.7	△(月2)	○(月1)
高石市	459	878	413	25.7	2.7	12.7	△(月2)	
藤井寺市	595	1234	500	12.0	1.9	13.9	※	○(月1)
東大阪市	565	984	490	19.4	3.3	16.7	○(週1)	
泉南市	552	1000	457	21.2	5.0	12.9	○(週1)	○(週1)
四條畷市	574	643	476	21.9	5.7	11.8	○(週1)	
交野市	538	609	391	22.8	9.5	11.3	○(週1)	○(月1)
大阪狭山市	854	485	747	16.6	2.9	10.8	○(月1)	
阪南市	588	1265	466	26.8	7.2	12.2	○(週1)	○(月2)
島本町	584	411	498	18.8	5.9	10.3	□(月1)	○(月1)
豊能町	638	1373	454	35.7	9.5	6.6	○(週1)	○(月1)
能勢町	490	1199	344	31.4	6.8	7.4	○(週1)	○(月1)
忠尋町	645	530	551	20.4	4.0	22.6	○(週1)	
熊取町	603	1053	426	27.4	10.1	10.6	○(週1)	○(月2)
田尻町	614	493	506	12.4	4.2	13.7	○(週1)	○(月2)
岬町	856	795	759	7.9	3.1	9.5	○(週1)	○(月7回以上)
太子町	607	176	452	19.9	6.1	11.3	○(月2)	
河南町	639	497	473	24.6	5.7	11.1	○(月2)	
千早赤坂村	764	170	582	23.4	6.1	10.9	○(月2)	
平均	517	777	430	22.5	4.9	11.9		
最大	856	1577	759	35.7	11.9	22.6		
最小	430	170	328	7.9	0.4	1.1		

○：プラスチック製容器包装の収集
 △：白色トレイ、ペットボトルのみ収集
 □：ペットボトルのみ収集
 ※：ペットボトルを拠点回収

※従業者数データ出典：H26経済センサス基礎調査の結果（速報）

- ・新たな指標の上位5市町と取組み状況について表2-3に示す。

表2-3-1 生活系府民1人1日当たり混合/可燃排出量

順位	市町村	生活系 府民1人1日当たり 混合/可燃排出量 (g/府民1人・日)	プラスチック製 容器包装の収集	古紙の行政回収
1	守口市	328	○(週1)	○(月2)
2	能勢町	344	○(週1)	○(月1)
3	大阪市	356	○(週1)	○(月2)
4	松原市	370	○(週1)	○(月2)
5	摂津市	382	△(月2)	○(月1)

表2-3-2 生活系分別排出率

順位	市町村	生活系分別排出率 (%)	プラスチック製 容器包装の収集	古紙の行政回収
1	豊能町	35.7	○(週1)	○(月1)
2	守口市	34.3	○(週1)	○(月2)
3	寝屋川市	32.7	○(週1)	○(週1)
4	能勢町	31.4	○(週1)	○(月1)
5	枚方市	31.0	○(週1)	

表2-3-3 主に行政により分別収集が行われている品目のみの再生利用率

順位	市町村	主に行政により 分別収集が行われている 品目のみの再生利用率 (%)	プラスチック製 容器包装の収集
1	守口市	11.9	○(週1)
2	寝屋川市	10.3	○(週1)
3	熊取町	10.1	○(週1)
4	交野市	9.5	○(週1)
4	豊能町	9.5	○(週1)

- ・混合/可燃排出量の少ない市町村は、プラスチック製容器包装の収集、古紙の行政回収について、回数が多く実施されている。
- ・生活系分別排出率、主に行政により分別収集が行われている品目のみの再生利用率が高い市町村は、プラスチック製容器包装の収集を週1回実施している。

2 産業廃棄物

(1) 産業廃棄物に関するごみ処理段階ごとの新たな指標

- 産業廃棄物の処理段階ごとの新たな指標を表2-4に示す。

表2-4 産業廃棄物処理段階ごとの新たな指標

ごみ処理段階	指標の考え方	新たな指標
処理	・汚泥等に含まれる水分の影響等を除いて再生利用の状況を表す。	①減量化量を除いた再生利用率 (再生利用量) / (排出量 - 減量化量)
	・排出量の増減の影響を受けない指標で表す。	②最終処分率 (最終処分量) / (排出量)

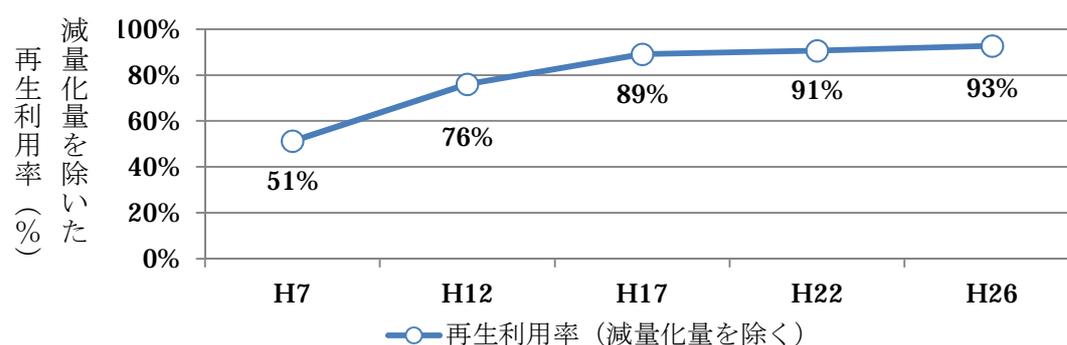
[排出量は、再生利用量、減量化量及び最終処分量の和]

(2) 新たな指標で表した産業廃棄物の処理状況

①減量化量を除いた再生利用率

- 汚泥（排出段階で水分を多く含み、排出量は水分の影響を受けて変動するもの）等に含まれる水分の影響等を除いて再生利用の状況を表すため、排出量から減量化量を除いた際の再生利用率を表したものを図2-1に示す。
- 平成26年度の状況について排出量から減量化量を除いたものでみると、約93%が再生利用されており、約7%が最終処分されている。長期的には大幅に上昇してきたが、平成17年度から平成26年度にかけては緩やかな上昇である。

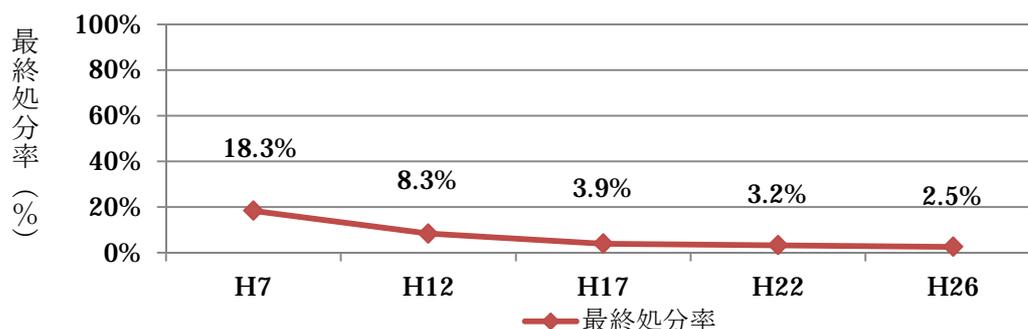
図2-1 排出量から減量化量を除いた再生利用率の推移



②最終処分率

- ・最終処分量の削減の進捗を排出量の増減の影響を除いて表すため、排出量に対する最終処分量の割合（最終処分率）で表す。
- ・これまでの最終処分率の推移を図2-2に示す。平成26年度の最終処分率は2.5%である。最終処分率は長期的に大幅に減少しているが、近年はその減少幅が緩やかになってきている。

図2-2 最終処分率の推移



(3) 新たな指標で表した全国と東京都の産業廃棄物の処理状況

- ・新たな指標で表した平成26年度の大阪府の処理状況及び全国平均（H24推計）及び東京都（H24実績）を表2-5に示す。
- ・排出量の種類別の割合が比較的近い東京都の処理状況と比較すると、排出量から減量化量を除いた再生利用率は大阪府の方が高く、また、最終処分率も大阪府の方が低かった。

表2-5 新たな指標で表した大阪府、全国、東京都の処理状況

	大阪府 (H26)	東京都 (H24)	全国 (H24)
①排出量から減量化量を除いた再生利用率	93%	89%	94%
②最終処分率	2.5%	3.7%	3.5%